

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 たんぼぼ		
○保護者評価実施期間	令和7年年 1月 14日		～ 令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	令和7年年 1月 14日		～ 令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	同じ敷地内にある、富士見が丘子ども園との併用利用	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども園の中にあることで、無理なく集団生活を始めることができます。 ・園内にあるので、お子様にとっても保護者さまにとっても利用しやすいサービスを提供することができます。 ・施設間の送迎が不要なので保護者は働きながら安心してサービスを受けられます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、子どもの発達段階や特性をふまえた支援ができるよう、子ども園の職員と連携していきます。
2	富士見が丘子ども園のクラス活動や園行事への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達段階と特性をふまえた支援を園内で行っています。 ・それぞれの子どものタイミングで集団生活を始められるよう支援しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、たんぼぼんの職員が子どもひとり一人の発達段階に合った集団への参加の仕方を行っていきます。また、保育内容や子ども園の活動内容を理解して、クラス活動、園行事に取り組みます。
3	富士見が丘子ども園の先生との日々の情報共有や連携	<ul style="list-style-type: none"> ・たんぼぼんの教室だけでなく、各クラスの中に入り支援を行っています。クラスの先生と日々話し合いながらクラスでの支援を行っています。園内にある事業所ならではの支援ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、子ども園の先生と日々情報共有をしながら連携を図っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニングや兄弟児への支援	ペアレントトレーニングとしての位置づけではありませんが、子育ての困りや悩みについては個別での対応を行っています。	大分市の障害福祉課が行っている、ペアレントプログラムの案内やその他の情報を伝えられるようにしていきたいと思えます。
2	保護者間の交流	子ども園の中に保護者会があるため、児童発達支援事業たんぼぼだけの保護者交流の場を設けていませんでした。	個別での相談会や面談などは行っていました。家庭での困りや取り組みなどを出し合ったり、思いを共有できる場面を作れるよう取り組みたいと思えます。
3			